

担当教員名：篠原 千佳

研究室：聖アントレ館6階614号室

オフィスアワー：火曜日3限

メールアドレス：shinohc@andrew.ac.jp

授業形態

『講義』

講義・演習概要

この現代社会論講義は、社会学の基礎知識を提供し、さまざまな社会問題について社会学的に考察する。トピックとしては、孤立化社会、学校教育と就職問題、非行と犯罪、地域社会の崩壊と再生、グローバル化と社会の多様化、社会階層と格差、メディアと大衆文化、人権問題と雇用均等、福祉国家、安心社会から信頼社会への変化、幸福感と社会意識、グローバル化社会と日本の役割などを予定している。

学習目標

社会学の理論・研究方法など基礎知識を習得しながら、最近のグローバル化する社会で起こっている様々な問題を、社会学的に理解・分析する基礎力を育てることを目標とする。この学期の最終目標は、各受講生が、多様化する現代社会の現象や問題を多角的な視点で理解・分析できるようになり、解決方法を模索・提示できる能力を身につけることである。

講義・演習計画

【第1回】 講義紹介	【第16回】 図書館調査活動－現代社会リサーチプロジェクト
【第2回】 社会学って何？グローバル化社会って何？	【第17回】 社会変動と大衆文化1－出版不況を考える
【第3回】 現代社会をキャッチする－社会学理論と調査方法	【第18回】 社会変動と大衆文化2－大衆社会と文化論的解釈
【第4回】 孤人化社会と親密性の罠1－氾濫する親密性	【第19回】 家族とジェンダー1－ジェンダー視点で見る近現代日本社会
【第5回】 孤人化社会と親密性の罠2－近代化、個人主義、孤立化	【第20回】 家族とジェンダー2－性別役割と社会制度を考える
【第6回】 学校から職業へ1－ライフコース、未来予想図は見える？	【第21回】 福祉国家1－福祉レジームと社会保障制度
【第7回】 学校から職業へ2－自己実現と学歴社会のホント	【第22回】 福祉国家2－日本の出産、保険、年金、介護
【第8回】 非行文化喪失と少年犯罪1－犯罪の現状と変化	【第23回】 安心社会から信頼社会へ1－リスク社会を生きる
【第9回】 非行文化喪失と少年犯罪2－ソーシャル・ネットワーク	【第24回】 安心社会から信頼社会へ2－市民社会とNGO・NPO
【第10回】 地域社会の崩壊と再生1－地域社会、多様化、リスク	【第25回】 グローバル化と社会意識1－グローバル化と幸福感
【第11回】 地域社会の崩壊と再生2－地域社会の社会学的分析	【第26回】 グローバル化と社会意識2－世界の中の日本を考える
【第12回】 格差と不平等1－総中流社会から格差社会へ	【第27回】 グローバル社会と日本の役割1－日本とUN国際機関の役割
【第13回】 格差と不平等2－少子高齢化社会と階層社会	【第28回】 グローバル社会と日本の役割2－日本に課せられた役割
【第14回】 現代社会と宗教の役割	【第29回】 今学期のまとめと復習
【第15回】 これまでのまとめと復習	【第30回】 期末試験準備

成績評価の方法

試験	レポート	出席
コメント	期末試験(基礎)30% 期末試験(論述)40% 授業参加・貢献30%	基本的に理解を試験と自由選択テーマの論述で確認するほかに、授業への参加・貢献の総合的な判断で評価する。毎回講義時間内外の課題に取り組み、積極的に参加・貢献することに加えて、協調性を持って他の受講生とも課題に取り組むことが求められる。

テキスト

著書	友枝 敏雄・山田真茂留(編)	タイトル	Do! リソロジー 改訂版 -- 現代日本を社会学で診る
ISBN	ISBN-10: 4641124965 ISBN-13: 978-4641124967	出版社	有斐閣アルマ
教科書購入区分	生協購入	備考	
著書		タイトル	
ISBN		出版社	
教科書購入区分	選択なし	備考	
著書		タイトル	
ISBN		出版社	
教科書購入区分	選択なし	備考	

参考文献

指定のテキスト以外の参考文献は講義中に指示する。

事前および事後学習の指示（事前学習 60 時間・事後学習 60 時間）

講義時の指示に従い、教科書と関係資料を毎回必ず予習・復習し授業に臨むこと。基本的には、教科書の該当する章(約 10~20ページ)を熟読し、その章の設問に答えられるよう準備をしておくこと。講義時間内外での提出課題は個人、ペア、グループ・ワークなど多様であり、自立心と積極性に加えて協調性が求められる。

その他備考(担当教員用)

キーワード

社会学、現代社会、グローバル化

備考(管理者用)